

2026年度 新潟大学出前講義一覧

学部名	No.	対象学年	分野	テーマ(タイトル)		職名	教員氏名	対応可能時期	対面	オンライン (Zoom)
				講義	概要					
創生学部	1	全学年	融合的な課題探究・解決型学習	探究的な学びから、大学での研究への接続	◆「総合的な探究の時間」を対象として、創生学部で実施している「探究テーマの発見・設定」「探究の手法」「データ分析」「成果のまとめ」など、社会的課題への取り組み方や、文理融合的な課題解決型学習のプロセスを解説し、その目的を明確にするとともに、探究の実証方法・評価方法などについて考察する。(教職員対象の研修も可)	教授	田中 一裕 (他:創生学部担当教員)	応相談	○	○
				◆「総合的な探究の時間」を対象として、創生学部で実施している「探究テーマの発見・設定」「探究の手法」「データ分析」「成果のまとめ」など、社会的課題への取り組み方や、文理融合的な課題解決型学習のプロセスを解説し、その目的を明確にするとともに、探究の実証方法・評価方法などについて考察する。(教職員対象の研修も可)						
	2	全学年	教育学、脳科学、心理学	大学では何をどのように学ぶのか？(学ぶ興味・関心を喚起する)	◆大学で学ぶ内容や方法について具体的に紹介するとともに、学ぶことの目的や意義を示す。大学での学びが、高等学校までの基礎的な学習の延長であり、それぞれの知識の中に多くの研究者の知への探求の積み重ねがあることを学ぶ。歴史的な科学者の発見から現代の学問の最先端を俯瞰し、グループワークなどを通して、脳科学・心理学的側面から学びを科学的に考察する。	教授	田中 一裕	応相談	○	○
				◆大学で学ぶ内容や方法について具体的に紹介するとともに、学ぶことの目的や意義を示す。大学での学びが、高等学校までの基礎的な学習の延長であり、それぞれの知識の中に多くの研究者の知への探求の積み重ねがあることを学ぶ。歴史的な科学者の発見から現代の学問の最先端を俯瞰し、グループワークなどを通して、脳科学・心理学的側面から学びを科学的に考察する。						
	3	全学年	情報工学、脳科学、心理学、教育学	コンピュータに心は宿るのか？(心とは、意識とは何か)	◆AIやChatGPTの進化が続き、大量のデータ処理から最適解を見つけ出す作業は、AIに取って代わっている。このままAIが進化を続けた場合、AIの中に心や意識は宿る日が来るのか。そもそも私たちの心、意識とは何か。自らの内面を見つめ直しながら、最新脳科学・心理学・哲学の側面から、グループワークなどを通じて心・意識とは何かを探究する。	教授	田中 一裕	応相談	○	○
				◆AIやChatGPTの進化が続き、大量のデータ処理から最適解を見つけ出す作業は、AIに取って代わっている。このままAIが進化を続けた場合、AIの中に心や意識は宿る日が来るのか。そもそも私たちの心、意識とは何か。自らの内面を見つめ直しながら、最新脳科学・心理学・哲学の側面から、グループワークなどを通じて心・意識とは何かを探究する。						
	4	全学年	情報工学、脳科学、心理学、教育学	私たちの意思決定メカニズム(心はどのように決めているのか？)	◆進路決定や職業決定など、これから多くの大切な意思決定をおこなう場面に直面する。自らの内面を明らかにし、選択肢をしっかりと定め、評価基準を確定することで、意思決定が可能となる。グループワークなどを通して、意思決定に必要な考察力を探究させる。	教授	田中 一裕	応相談	○	○
				◆進路決定や職業決定など、これから多くの大切な意思決定をおこなう場面に直面する。自らの内面を明らかにし、選択肢をしっかりと定め、評価基準を確定することで、意思決定が可能となる。グループワークなどを通して、意思決定に必要な考察力を探究させる。						
	5	全学年	政治学、主権者教育、情報リテラシー	主権者としてのリテラシー獲得(意思決定力の向上)	◆フェイクニュース・デープフェイクが世論操作へと大きな影響力を持ち、デジタルポピュリズムが進んでおり、18歳選挙権導入後、早急な主権者としてのリテラシー獲得が求められている。溢れる情報のなか、次の社会を担う意思決定力の獲得のために、模擬投票・模擬議論・リアル投票・リアル議論を通じた考察をおこなう。	教授	田中 一裕	応相談	○	○
				◆フェイクニュース・デープフェイクが世論操作へと大きな影響力を持ち、デジタルポピュリズムが進んでおり、18歳選挙権導入後、早急な主権者としてのリテラシー獲得が求められている。溢れる情報のなか、次の社会を担う意思決定力の獲得のために、模擬投票・模擬議論・リアル投票・リアル議論を通じた考察をおこなう。						
	6	全学年	金融教育、キャリア教育、経済学	新しい金融知識をもった高校生になるために(キャリア形成と金融)	◆仮想通貨(暗号通貨)の登場で、金融を巡る情勢は一変している。世界の金融と仮想通貨を巡る新しい金融システムと私たちの暮らしについて考察する。また一人の高校生が成人までにかかる費用は1000万円を超えるという統計結果から、自らの成長やキャリア形成に注目し金融面で振り返る。またグループワークなどを通して、将来のキャリア形成の重要性を確認し、自己実現のための計画を立案することから、金融に関する知識を構築していく。	教授	田中 一裕	応相談	○	○
◆仮想通貨(暗号通貨)の登場で、金融を巡る情勢は一変している。世界の金融と仮想通貨を巡る新しい金融システムと私たちの暮らしについて考察する。また一人の高校生が成人までにかかる費用は1000万円を超えるという統計結果から、自らの成長やキャリア形成に注目し金融面で振り返る。またグループワークなどを通して、将来のキャリア形成の重要性を確認し、自己実現のための計画を立案することから、金融に関する知識を構築していく。										
7	全学年	防災教育、キャリア教育	災害弱者を守るためには(避難所設営シミュレーション)	◆災害発生時には、学校に避難所が設営される。避難してきた多様な住民が安全・安心に過ごすことができる避難所の設営はどうか、子どもや高齢者、病気が障がいを持つ人、外国籍の人など、多様な属性を持つ避難者を、高校生が設営者として避難所内のどこに配置するのかを決めていく避難所設営シミュレーションをグループワークなどを通して学習する。	教授	田中 一裕	応相談	○	○	
			◆災害発生時には、学校に避難所が設営される。避難してきた多様な住民が安全・安心に過ごすことができる避難所の設営はどうか、子どもや高齢者、病気が障がいを持つ人、外国籍の人など、多様な属性を持つ避難者を、高校生が設営者として避難所内のどこに配置するのかを決めていく避難所設営シミュレーションをグループワークなどを通して学習する。							
8	全学年	情報リテラシー教育、情報工学、心理学	フェイクに立ち向かう情報リテラシー(情報トラブルへの備え)	◆近年の情報デバイスやアプリの進化により、高校生を巻き込むトラブルが増えている。LINE、Facebook、X(Twitter)、Instagram、TikTokなど被害の実例から、深刻なトラブルに発展する前に立ち止まる行動を取ることができるように、またフェイク情報に対するリテラシー獲得のために、グループワークなどを通じて、体験させる学習をおこなう。	教授	田中 一裕	応相談	○	○	
			◆近年の情報デバイスやアプリの進化により、高校生を巻き込むトラブルが増えている。LINE、Facebook、X(Twitter)、Instagram、TikTokなど被害の実例から、深刻なトラブルに発展する前に立ち止まる行動を取ることができるように、またフェイク情報に対するリテラシー獲得のために、グループワークなどを通じて、体験させる学習をおこなう。							
9	全学年	情報工学、経営学	ビックテック(M・GAFA)の世界戦略と未来の社会(デジタル独占時代)	◆GIGAスクール構想の進展で、教育においてもビックテックによるシェア争いが激化している。Microsoft、Google、Apple、Facebook、Amazonの世界企業が、デジタル分野のみならず、生産・流通・販売まで大きく変革を生み出し、人々の生活や行動様式まで変化を与えている。AIを最大限に応用したビックテック(M・GAFA)の世界戦略を分析し、未来の社会の変化を予想するとともに、未来で生き抜くために求められるリテラシーを考察する。	教授	田中 一裕	応相談	○	○	
			◆GIGAスクール構想の進展で、教育においてもビックテックによるシェア争いが激化している。Microsoft、Google、Apple、Facebook、Amazonの世界企業が、デジタル分野のみならず、生産・流通・販売まで大きく変革を生み出し、人々の生活や行動様式まで変化を与えている。AIを最大限に応用したビックテック(M・GAFA)の世界戦略を分析し、未来の社会の変化を予想するとともに、未来で生き抜くために求められるリテラシーを考察する。							
10	全学年	国際理解教育、異文化理解教育	世界の食習慣から異文化を理解する	◆近年、インバウンドで多くの外国人が日本を訪れている。また日本に滞在する外国籍の人も多くなっている。世界の多様な文化・宗教・民族などの理解を深めるために、世界の食習慣から異文化理解をすすめる。また、日本国内における多文化共生地域の事例からこれからの多様化する社会をグループワークを通して考察する。	教授	田中 一裕	応相談	○	○	
			◆近年、インバウンドで多くの外国人が日本を訪れている。また日本に滞在する外国籍の人も多くなっている。世界の多様な文化・宗教・民族などの理解を深めるために、世界の食習慣から異文化理解をすすめる。また、日本国内における多文化共生地域の事例からこれからの多様化する社会をグループワークを通して考察する。							
11	全学年	融合的な課題探究・解決型学習評価、統計学	人間社会科学分野におけるデータサイエンスの応用	◆「総合的な探究の時間」を対象として、社会的課題への探究の実証方法・評価方法などについて焦点を当て、量的分析(相関分析・回帰分析)・質的分析(データマイニング)などの基礎的な理解と、その応用方法について、事例を交えながら考察する。(教職員対象の研修も可)	教授	田中 一裕	応相談	○	○	
			◆「総合的な探究の時間」を対象として、社会的課題への探究の実証方法・評価方法などについて焦点を当て、量的分析(相関分析・回帰分析)・質的分析(データマイニング)などの基礎的な理解と、その応用方法について、事例を交えながら考察する。(教職員対象の研修も可)							

学部名	No.	対象学年	分野	テーマ(タイトル)		職名	教員氏名	対応可能時期	対面	オンライン (Zoom)
				講義	概要					
創生学部	12	全学年	DX、STEAM教育、ICT、デジタル、融合的な課題探究・解決型学習、教員研修	DXで何ができるか？入門から応用まで		教授	田中 一裕 熊野 英和	応相談	○	○
				◆文科省の高等学校DX加速化推進事業(DXハイスクール)が始まるなど、デジタルやICTを活用した文理横断的・探究的な学び、またSTEAM教育の環境整備が進められている。DXで社会をどのように変えることができるのか、課題解決にどのように役立つのか、どのように進めていくかなど、入門的な部分から講義する。(教員研修も可能)						
	13	全学年	経営学(経営組織論・リーダーシップ論・経営戦略論)	「鬼滅の刃」の組織論～鬼一派失敗の本質		准教授	堀籠 崇	応相談	○	○
				◆大ヒットマンガ「鬼滅の刃」。圧倒的な力を持ちながらも、鬼の一派はなぜ主人公たち『鬼殺隊』に敗北したのか。その失敗の本質を経営学の視点から読み解き、私たちがこれからの社会を逞しく生き抜くヒントを探ります。						
	14	全学年	分野横断型課題探究 経営学(医療経営学)	金は命より重い！～？～医療経営学で考える～		准教授	堀籠 崇	応相談	○	○
				◆一般に「経営＝金儲け」、「医療＝(命を救う)聖なるもの」という、一見すると相容れないイメージがあるかもしれません。この講義では「医療」にまつわる問題を「経営学」の思考枠組みで読み解く「医療経営学」のエッセンスとその意義についてわかりやすく解説します。						
	15	全学年	生態学、農学	打たれ強い農業～生物多様性を活かした害虫管理は可能か		准教授	小路 晋作	応相談	○	○
				◆農地に棲む生きものたちの「機能」を活かした害虫管理法は、紀元前から世界各地で試みられてきました。アフリカの事例を中心に、保全型害虫管理の最前線を紹介いたします。						
	16	全学年	科学技術史	NASAとはどんな組織か		教授	佐藤 靖	応相談	○	○
				◆アメリカ航空宇宙局(NASA)は、半世紀前にアポロ計画を実施し、有人月面着陸を達成した。NASAとはどのような組織なのか。その業績を振り返る。						
	17	全学年	課題探究 (理系視点)	自然科学研究のいろは		教授	熊野 英和	応相談	○	○
				◆自然科学の基本的な方法論や意義、またその魅力を考えながら、探究活動のテーマ設定や課題の見つけ方、深め方を考えます。						
	18	全学年	データサイエンス	実践！データサイエンス入門		教授	熊野 英和	応相談	○	○
				◆データサイエンスの重要性が増してきています。データをどう得るのか、扱うのか、そしてそこから何が分かるのか？ 高校生の皆さんにも身近な数値データとテキストデータを用いて、基本の基本を解説します。						
	19	全学年	IoTとデータ計測実演	IoTでデータ計測&処理体験		教授	熊野 英和	応相談	○	○
				◆IoT技術の進展により、全てのモノがネットワークに繋がる時代となりつつあります。本講義では、消しゴム大のIoTツールを使って、データがどのように計測・伝送され、我々の生活を支えているのか、実際に体験してみます。						
	20	全学年	地理情報システム(GIS)	GISで街の様子を可視化してみよう！		教授	熊野 英和	応相談	○	○
				◆地理総合でGISを扱いますね。身近な例として、タウンページに掲載されている地域のデータを使って、例えばコンビニの分布はどうなってる？ など、皆さんの街の様子を無料のPC用GISソフト(QGIS)を使って可視化します。						
	21	全学年	機械学習(実践編)	機械学習を体験してみよう！		教授	熊野 英和	応相談	○	○
				◆もう日常的に使われるようになった機械学習ですが、その中には多くの数学的な成果が凝縮されています。実際のモノを動かして簡単な実演を交えながら、機械学習のしくみを分かりやすく解説します。						
	22	全学年	量子コンピュータ	こびと達の不思議なトランプと量子計算		教授	熊野 英和	応相談	○	○
				◆規模はまだ小さいものの、究極の計算能力を秘めた量子計算がクラウドで使えるようになってきているのはご存じですか？ こびと達のマイクロ世界のトランプを使って、その基本的な動作のしくみを講義します。						
	23	全学年	情報リテラシー、人工知能、自然言語、情報工学、教員研修	生成AI・ChatGPTをどう使うか？		教授	熊野 英和 田中 一裕	応相談	○	○
				◆生成AIの現状と問題点について、実際に生成AIを動作させながら具体的な事例を交えて講義する。生成AIの潜在的な可能性と同時に、現状の課題についても理解を深める。(教員研修も可能)						
	24	全学年	人間科学(課題探究)	プロジェクト学習の進め方		准教授	澤邊 潤	応相談	○	○
				◆大学1年生の講義を体験いただき、プロジェクト学習の進め方について大学生の事例を交えて紹介します。課題を突き詰める「探究」と自分自身の「探求」の2つの関係について生徒自身に考えていただきます。						
	25	全学年	人間科学(地域課題探究)	大学生は地域とどう向き合っているのか？		准教授	澤邊 潤	応相談	○	○
◆「地域創生」「地域活性化」など地域と関わる活動が増えています。本講義では、大学生が地域と関わり、実践(失敗)している事例を紹介しながら、地域との関わりを考えます。										
26	全学年	心理学	心の科学入門		准教授	並川 努	応相談	○	○	
			◆「心」について、科学的にとらえるとはどういうことなのか。心理学の研究例などを紹介しながら、考えてみたいと思います。要望や受講人数等に応じて、簡単な実験・実習的な要素を入れて行うことも可能です。							
27	全学年	動物心理学、比較認知科学	動物の行動から心理を考える		准教授	高橋 宏司	応相談	○	○	
			◆ヒトが心をもつように、動物たちにも心と思われるものがあります。動物たちがその生活の中でとる行動から、ヒトの心を見つめ直す機会を提供します。							

学部名	No.	対象学年	分野	テーマ(タイトル)		職名	教員氏名	対応可能時期	対面	オンライン (Zoom)
				講義	概要					
創生学部	28	全学年	水産学、魚類行動学	魚の気持ちとヒト社会		准教授	高橋 宏司	応相談	○	○
				◆食用、鑑賞、レジャーの対象として、人間社会と密接なつながりがある魚たち。そんな魚の心理学が人間社会に役立つ可能性について紹介します。						
	29	全学年	理科、生物学実験	動物の行動を観察しよう		准教授	高橋宏司	応相談	○	×
				◆生き物の行動観察を通じて、生命のつながりや理科への関心を高める実験を提供します。＊準備などに制限があるので、希望の際は事前にやり取りが求められます。						
	30	全学年	科学技術史	あなたの隣の天文学		特任准教授	金子 紘之	応相談	○	○
				◆天文学は昔からその時々で最先端の科学技術を開発しながら、時間、場所、未来を知る手助けとなり私たちの世界観を広げてきました。天文学の歴史、そして身近に使われている天文学生まれの科学技術を紹介します。						
	31	全学年	天文学	電波で見る宇宙		特任准教授	金子 紘之	応相談	○	○
				◆宇宙は“見る”波長によって違った姿を見せます。電波で見た宇宙の姿、そして見るための装置である電波望遠鏡について紹介します。						
	32	全学年	動物行動学、生態学	動物の生存戦略		特任准教授	西海 望	応相談	○	○
				◆動物が生き残るためには、いかにしてうまく餌をとらえるか、いかに天敵から逃れるかなど、様々な課題を解決する必要があります。こうした課題に対する動物の戦略は、熾烈な進化の歴史の中で、高度に洗練されてきたと考えられます。出前講義では、こうした動物の生存戦略について自身の研究を中心に紹介します。						
	33	全学年	動物行動学、情報工学、DX	動物行動学におけるDX技術		特任准教授	西海 望	応相談	○	○
				◆近年の情報技術の発展に伴って、動物行動学においても自動化された計測技術やバーチャルリアリティなどの仮想化技術などが取り入れられ、動物行動学研究の新たなフロンティアが示されつつあると言えます。出前講義では、こうした最新デジタル技術の活躍について紹介します。						
34	全学年	動物行動学	動物の情報処理能力、意思決定能力		特任准教授	西海 望	応相談	○	○	
			◆動物の中には、知覚した情報をさらに処理することで、現在だけでなく未来の状態を予測し、合理的な行動を選択できるものがあります。こうした動物の情報処理能力、意思決定能力について、トップジャーナルの研究事例を紹介します。							
35	全学年	行動経済学、進化生態学	進化ゲーム理論		特任准教授	西海 望	応相談	○	○	
			◆動物行動学は1900年代の中頃に行動経済学の思考を取り入れることで大きく発展してきました。対立する個体間の戦略と戦略のせめぎ合いによって、集団内にどのような平衡がもたらされるのか？こうした問いはゲーム理論を適用することで解くことが可能であり、さまざまな理論研究が進められてきました。本講義では、その典型となる進化ゲーム理論について実践を交えて解説します。							
36	全学年	応用数学、数理情報学、計算科学	スーパーコンピュータが解けない問題！？		特任准教授	小形優人	応相談	○	○	
			◆私たちの身の回りにはコンピュータでも解くことが難しい問題がいくつもあります。コンピュータの限界を体験しながらアルゴリズムの大切さについて考えます。							
37	理系2、3年	情報工学、知能情報学	職業体験(AIになって学習してみよう)		特任准教授	小形優人	応相談	○	×	
			◆「AIが人間のように学習する」とはどういうことでしょうか？AIになったつもりで簡単な問題が解けるように学習してみましょう。							
38	全学年	知覚情報処理、情報ネットワーク	ドローン操作で考えるデータサイエンス		特任准教授	小形優人	応相談	○	○	
			◆制御プログラムやジェスチャーを利用したドローン操作を通じて、データサイエンスを支えるIoTや機械学習について紹介します。							